

# 史跡 上人壇廃寺跡 保存活用計画書



平成 30 年 3 月

福島県須賀川市



# 史跡 上人壇麿寺跡 保存活用計画書

平成 30 年 3 月

福島県須賀川市



## はじめに

豊かな自然に恵まれた須賀川市は、県内でも有数の遺跡数を誇り、古代から当地方における産業、経済、文化の中心として栄えた歴史ある街です。

上人壇廃寺跡は、奈良・平安時代の寺院跡です。昭和36年の東北本線複線化工事に伴う発掘調査を契機に、東北地方における古代寺院跡として希少であることから、昭和43年に国の史跡に指定されました。

これまでの発掘調査で、古代石背郡・石背国と関わりのある寺院跡と判明し、一辺約80mの区画に、南門、金堂、講堂が一行に並ぶ伽藍配置であることが明らかになり、寺域内及びその周辺から、土師器・須恵器、瓦などのほか、全国的に類例が少ない奈良時代の六角形の瓦塔や平安時代の金鼓（鉦鼓）・経軸端などが出土しています。

平成30（2018）年は、古代陸奥国から石背国と石城国が分離、建国された年から1,300年を迎えます。その石背国の役所（国衙）があった場所が、上人壇廃寺跡を含む、現在の須賀川駅周辺と考えられています。

今回、上人壇廃寺跡が有する歴史的な価値や意義を次世代に継承し、合わせて市民の郷土への愛着や誇りの醸成、地域活性化に寄与することを目的に、「史跡上人壇廃寺跡保存活用計画」を策定いたしました。

本計画は、上人壇廃寺跡を中心に、周辺に位置する古代石背郡の役所（郡衙）である栄町遺跡や官人集落のうまや遺跡、豪族が建立した可能性の高い米山寺跡・米山寺経塚群、古代の官道である東山道（推定）などの石背郡衙関連遺跡群や景観の保護なども含めた適正な保存と有効な整備活用のあり方の指針とするものです。

今後は、本計画に基づき、上人壇廃寺跡の保存・管理や周辺遺跡の調査研究、景観の保護などを適切に行いながら、本市を代表する遺産として多くの方々の学習の場、憩いの場となるよう整備活用を図ってまいりたいと考えております。

最後に、本計画の策定に当たりご尽力を賜りました国史跡上人壇廃寺跡整備委員会委員の皆様をはじめ、文化庁、福島県教育委員会など関係各位に深く感謝申し上げます。



平成30年3月

須賀川市長 橋本 克也

## 例 言

1. 本書は、福島県須賀川市上人垣・岩瀬森に所在する、史跡上人壇廃寺跡の保存活用計画書である。
2. 本事業は、平成 29 年度に国庫補助事業として実施した。
3. 計画書は、「国史跡上人壇廃寺跡整備委員会」を設置後、同委員会の検討・審議、および文化庁記念物課、福島県教育庁文化財課の指導を得て、須賀川市文化スポーツ部文化振興課が編集した。
4. 事業実施体制は以下の通りである。
  - 事業主体 須賀川市長 橋本克也
  - 委員会 国史跡上人壇廃寺跡整備委員会（委員は第 1 章に記載）
  - 事務局 須賀川市文化スポーツ部文化振興課
5. 保存活用計画策定に際しては、計画策定支援業務としてランドブレイン株式会社に委託した。
6. 本文のうち、第 2 章第 2 節（2）上人壇廃寺跡周辺の植生は仲田茂司委員に植生調査を、第 2 章第 5 節（1）主要伽藍の内容は清水重敦委員の意見を基に事務局で作成した。
7. 計画策定で収集した資料は、須賀川市で保管している。

# 目次

## 第1章：計画策定の沿革・目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

- 第1節：計画策定の沿革
- 第2節：計画策定の目的
- 第3節：保存活用計画策定にいたる経緯
- 第4節：計画の対象範囲
- 第5節：整備委員会の設置
- 第6節：市が定めるほかの計画との関係
- 第7節：計画の実施

## 第2章：上人壇廃寺跡の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

- 第1節：史跡指定の概要
- 第2節：史跡を取り巻く環境
- 第3節：史跡周辺の歴史的環境
- 第4節：発掘調査の概要
- 第5節：上人壇廃寺跡の特色

## 第3章：上人壇廃寺跡の価値・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81

- 第1節：史跡の本質的価値
- 第2節：新たな評価の視点
- 第3節：上人壇廃寺跡の構成要素

## 第4章：現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 87

- 第1節：保存管理の現状と課題
- 第2節：活用の現状と課題
- 第3節：整備の現状と課題
- 第4節：運営・体制の整備の現状と課題

## 第5章：大綱・基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 89

- 大綱・基本方針

**第6章：上人壇廃寺跡と関連遺跡の保存と管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・90**

- 第1節：保存管理の基本的な考え方
- 第2節：保存管理の方法
- 第3節：現状変更等の内容と許可・届け出
- 第4節：公有地化及び追加指定の考え方

**第7章：上人壇廃寺跡と関連遺跡の活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・100**

- 第1節：活用の方向性
- 第2節：活用の方法

**第8章：上人壇廃寺跡と関連遺跡の整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・104**

- 第1節：整備の方向性
- 第2節：整備の方法

**第9章：上人壇廃寺跡と関連遺跡の管理運営・体制の整備・・・・・・・・・・106**

- 第1節：管理運営・体制整備の方向性
- 第2節：管理運営・体制整備の方法

**第10章：施策の実施計画の策定・実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・108**

- 第1節：施策の実施計画の策定・実施の方向性
- 第2節：施策の実施計画の策定・実施の方法

**第11章：経過観察・・・・・・・・・・・・・・・・・・110**

- 第1節：経過観察の方向性
- 第2節：経過観察の方法

**附編 関連法令**



## 図目次

第1図	計画の対象範囲	P4
第2図	計画の対象範囲	P5
第3図	須賀川市第8次総合計画体系図	P8
第4図	都市計画マスタープラン	P9
第5図	須賀川市中心市街地活性化基本計画	P10
第6図	「須賀川駅西地区のまちづくり 第5回意見交換会資料」	P11
第7図	指定範囲	P16
第8図	公有地化の状況図	P17
第9図	須賀川市の位置	P19
第10図	上人壇廃寺跡の周辺地形図・南北軸断面図	P20
第11図	上人壇廃寺跡の周辺地質図	P21
第12図	上人壇廃寺跡の周辺等高線図	P22
第13図	上人壇廃寺跡の周辺の断面概略図	P22
第14図	植生調査区分	P24
第15図	航空写真	P24
第16図	須賀川市の人口	P26
第17図	須賀川市へのアクセス	P26
第18図	上人壇廃寺跡と周辺の徒歩圏調査範囲	P28
第19図	縄文時代	P31
第20図	弥生時代	P32
第21図	古墳時代の土器と集落	P34
第22図	石背郡内主要後期～終末期古墳集成	P35
第23図	栄町遺跡(1)	P38
第24図	栄町遺跡(2)	P39
第25図	うまや遺跡と出土遺物	P41
第26図	米山寺跡・史跡米山寺経塚群	P42
第27図	東山道(推定)	P44
第28図	上人壇廃寺跡周辺の指定文化財	P48
第29図	上人壇廃寺跡周辺の埋蔵文化財包蔵地	P50
第30図	第1次～第3次調査	P54
第31図	昭和51～55年度調査(1)	P55
第32図	昭和51～55年度調査(2)	P56
第33図	昭和51～55年度調査(3)	P56
第34図	50年代遺構配置図	P58
第35図	平成19～21年度確認調査トレンチ配置図	P59
第36図	上人壇廃寺跡平成19～21年度トレンチ配置図	P60
第37図	第Ⅰ期(創建期)の伽藍配置図	P61
第38図	第Ⅱ期の伽藍配置図	P62
第39図	第Ⅲ期の伽藍配置図	P63
第40図	第Ⅳ期の伽藍配置図	P63
第41図	上人壇廃寺跡 金堂	P64
第42図	上人壇廃寺跡 講堂	P65

第 43 図	上人壇廃寺跡 南門	P66
第 44 図	出土遺物	P68
第 45 図	上人壇廃寺跡出土瓦分類図	P69
第 46 図	瓦塔の復元案	P70
第 47 図	南門跡 (SB01) 平面図・断面図	P75
第 48 図	金堂跡 (SB05) 平面図・断面図	P77
第 49 図	金堂跡の想定とその類例	P78
第 50 図	講堂跡 (SB06) 平面・断面図	P79
第 51 図	本質的価値および新たな評価の視点	P84
第 52 図	知る古会活動の様子	P101
第 53 図	市立博物館の取組	P102
第 54 図	須賀川市歴史文化基本構想の講演会	P103
第 55 図	体制図	P107
第 56 図	古代石背郡内の郷名と古墳・集落	
第 57 図	地区区分	
第 58 図	史跡上人壇廃寺跡保存活用計画体系図	

## 表目次

第 1 表	これまでの経緯	P3
第 2 表	委員会の開催及び内容	P6
第 3 表	体制	P6
第 4 表	上人壇廃寺跡の指定に至る経緯	P13
第 5 表	公有地の地番と面積	P18
第 6 表	主な観光の人数	P27
第 7 表	上人壇廃寺跡から 500 m 圏内の字別人口動態	P29
第 8 表	上人壇廃寺跡周辺の指定文化財	P49
第 9 表	上人壇廃寺跡周辺の埋蔵文化財包蔵地	P51
第 10 表	本質的価値とその構成要素	P85
第 11 表	新たな評価の視点とその構成要素	P86
第 12 表	地区区分	P90
第 13 表	地区区分ごとの構成要素	P92
第 14 表	地区区分の保存管理手法	P94
第 15 表	実施計画表	P109
第 16 表	点検項目	P111